

里地里山保全・再生の特徴的取組 個票 A (対象地域の概況)

NO.93	平林地区		生物地理区分		コナラ林(東日本)	
			地域区分		都市周辺	
所在地	都道府県	山梨県	地形条件	1.山地	2.山麓部	3.丘陵・台地
	市町村	富士川町(旧増穂町)		4.低地	5.その他	
	集落名称等	平林	環境要素	1.二次林	2.草地	3.水田
				4.畑	5.小川・水路	6.ため池
			7.池沼・湿地	8.社寺林	9.人工林	
			10.その他			

環境要素(対象とする地域に含まれる環境要素)

:面積割合が最大のもの :それ以外の環境要素

自然環境・景観保全、国土保全関連の法指定状況	自然環境、景観、文化等の観点からの選定・評価
県指定景観保存地区、自然記念物：戸川溪谷、氷室神社スギ林	「関東の富士見百景」
特徴的な動植物や生息環境	対象地の景観の現状
カモシカ(国天然記念物)	観光パンフレット等に写真が使用されている、風景探勝や撮影の来訪者が多い



写真の説明：棚田と平林集落



写真の説明：ため池(さくら池)増穂ふるさと自然塾 自然体験ハウス周辺)

NO.93		平林地区		取組主体	1.地域コミュニティ(集落・組合等)
所在地	都道府県	山梨県			2.団体・企業・学校等
	市町村	富士川町(旧増穂町)			3.行政による支援施策の活用
	集落名称等	平林			4.多様な主体が参加・連携する組織体
					5.その他(地域づくり団体、平林活性化組合)

取組主体	主な主体の名称	地域づくり団体、平林活性化組合			
	その他の主体の名称	ますほ 21 世紀の森づくりの会(森林ボランティア)、東京環境工科専門学校			
目的 :主 :その他	1.農林業を通じた里山や草地の利用(管理)の維持・活性化(伝統的なものも含む)				
	対象・取組内容	田畑: 棚田オーナー制度や野菜収穫体験など地域外からの参加者も得るなかで耕作放棄地の解消や荒廃農地化の防止に取り組んでいる。 森林: 森林ボランティア活動により定期的な間伐及び地元産広葉樹実生苗の植樹に取り組んでいる			
	支援措置				
	3.環境教育や自然体験、エコツーリズムの場としての利用				
	自然観察会				
	環境教育・学習活動				
	里地里山体験・環境保全	*	そば打ち体験、キノコの植菌体験、炭焼き体験、間伐材を利用したベンチ作り体験		
	農林業体験活動	*	稲作体験、棚田オーナー制度、野菜収穫体験、間伐体験、下草刈り体験 平林活性化組合員から田畑のフィールドが提供されるとともに組合員が体験講師となっている。		
	エコツアー				
	その他	*	地元産広葉樹実生苗の植樹、東京環境工科専門学校の実習林: 一定のエリアの人工林を伐採し放置(どのような植物がはえてくるか等、植樹転換に向けた調査を行う		
4.野生動植物やその生息地の保全・管理					
取組内容	森林ボランティアにより放置されていたスギ、ヒノキ林にて、間伐や地元産広葉樹実生苗を植樹し樹種転換が図られるなど定期的な整備を行いはじめている。周辺は東京環境工科専門学校の実習地で10年以上にわたり野生動植物のデータを蓄積。アメリカセンダングサやオオクチバス等外来種駆除も行われている				
5.地域の良好な景観の保全・修復					
取組内容	棚田: オーナー制度や稲作体験など地域外からの参加者も得るなかで耕作を継続するとともに景観保全に取り組んでいる				
連携・協働による取組内容・役割分担等	地区全戸が平林活性化組合員となり、農作物収穫イベントや体験農園など都市住民との交流事業を充実させ、棚田のオーナー制度の受け入れを積極的に行っている。活動は、町営「増穂ふるさと自然塾」(環境省補助を受けた自然環境学習拠点施設)における自然体験プログラムと連携して実施。 森林ボランティア(地元住民の多くも会員登録)は、県職員ほか林業に関する専門家等のアドバイスのもと活動している。(会の活動経費は地元民間企業が一部支援)東京環境工科専門学校は、地区内実習地で野生動植物の調査、外来種駆除等を実施。				
取組の特徴や強調したい点	ため池(さくら池)周辺は「モニタリング100里地調査」の一般サイトとして登録しており、アカガエルの生息状況データを報告予定				

取組の概要	ふるさと自然塾で地元住民講師等が多彩な体験学習活動	課題グループ 野生生物 学習体験
事例の特性	地元案内人や技術指導員の確保	
取組の中で他の地域の参考となる点	田畑・棚田オーナー制度や野菜収穫体験など地域外からの参加者を募り、耕作放棄地の解消や荒廃農地化の防止に取り組む。活動は地元民が講師となる町営「増穂ふるさと自然塾」自然体験プログラムと連携して行われている。	